

# グランシップ

# しずおか連詩の会 2016

大岡信 監修

5人の  
詩人俳人が紡ぐ、  
色とりどりのことばの宴。

第一線で活躍する個性豊かな5人の詩人俳人が、3日間で40編の連詩を創作。互いの感性で化学反応を起こす「ことば」のリレー。本会では、できあがったばかりの詩を作者自らが朗読、解説します。作品を通して、「ことばのアーティスト」たちの創作中のエピソードや、世界観に触れてみませんか。今回で17回目を迎え、静岡が誇る文芸文化です。

野村喜和夫

暁方ミセイ

高柳克弘

小笠原鳥類

高貝弘也

- 連詩創作 野村 喜和夫 (詩人)  
高貝 弘也 (詩人)、小笠原 鳥類 (詩人)  
高柳 克弘 (俳人)、暁方 ミセイ (詩人)
- 監 修 大岡 信 (詩人)
- 内 容 連詩の発表、朗読、解説

●入場料  
**500円**  
※全席自由  
※事前申込制

- お申込み・お問い合わせ  
グランシップチケットセンター  
TEL.054-289-9000 (営業時間/10:00~18:30) FAX.054-203-5716  
E-mail [info@granship.or.jp](mailto:info@granship.or.jp)  
または、グランシップホームページ申込フォームより  
お申込みください。

グランシップ  検索

2016年11月20日(日) 14:00開演 (13:30開場)

グランシップ 11階会議ホール・風  
(JR東静岡駅南口隣接)

5人の  
詩人俳人が紡ぐ、  
色とりどりのことばの宴。

# しずおが連詩の会

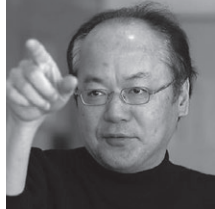
2016

大岡信 監修

グランシップ

1999年から毎年開催している「しずおが連詩の会」。近年の三島、浜松での開催を経て、17回目の今回は3年ぶりにグランシップでの創作と発表を行います。個性豊かな“ことばのアーティスト”たちが

集まり、3日間でどのような連詩が編まれていくのか。5人のうち4人が初参加となる今回の「しずおが連詩の会」。表現力豊かなことばの共鳴にご期待ください。当日は、できあがったばかりの作品の発表と作者自らの朗読、解説を行います。創作期間中のエピソードもお楽しみに。



野村 喜和夫 (のむら きわお) | 詩人

詩集『特性のない陽のもとに』で歴程新鋭賞、『風の配分』で高見順賞、『ニューインスピレーション』現代詩花椿賞受賞など。評論『移動と律動と眩暈と』及び『萩原朔太郎』で鮎川信夫賞ほか著訳書多数。英訳選詩集『Spectacle&Pigsty』で2012Best Translated Book Award in Poetry(USA)を受賞。戦後世代を代表する詩人の一人として現代詩の最先端を走り続けている。「しずおが連詩の会」では、2009年より創作の場をまとめるさばき手を務めており、今回で11回目の参加となる。



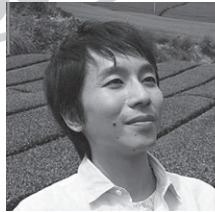
高貝 弘也 (たかがい ひろや) | 詩人

詩集に、『再生する光』(現代詩花椿賞受賞)、現代詩文庫167『高貝弘也詩集』、『子葉声韻』(高見順賞・山本健吉文学賞受賞)、『露光』(藤村記念歴程賞受賞)、『露地の花』、『白緑』など。散文集に、『白秋』がある。



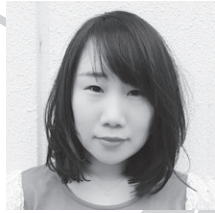
小笠原 鳥類 (おがさわら ちょうるい) | 詩人

子どもの頃に草野心平の詩と出会う。最近の著書に選集の現代詩文庫222『小笠原鳥類詩集』があり、詩(第1詩集『素晴らしい海岸生物の観察』など)、散文(岡井隆論、入沢康夫論など)を収録。詩の雑誌『現代詩手帖』『GANYMEDE』『歴程』などに執筆。



高柳 克弘 (たかやなぎ かつひろ) | 俳人

2002年、俳句結社「鷹」に入会。2004年、連作「息吹」により俳句研究賞受賞。2008年、『凜然たる青春』により俳人協会評論新人賞受賞。2009年、第1句集『未踏』により田中裕明賞受賞。2016年、第2句集『寒林』刊行。他の著作に『芭蕉の一句』など。『鷹』編集長。読売新聞夕刊「KODOMO俳句」選者。静岡県浜松市出身。浜松市やらまいか大使。神奈川大学、玉川大学講師。



暁方 ミセイ (あけがた みせい) | 詩人

2010年、現代詩手帖賞を受賞しデビュー。2012年、第一詩集『ウイルスちゃん』で中原中也賞受賞。2013年には処女小説『青い花』を『文藝』に発表、また日本経済新聞「プロムナード」コーナーでのエッセイ連載など、現代詩以外の分野でも活動している。既刊にkindle版詩集『宇宙船とベイビー』、第二詩集『ブルーサンダー』、連詩詩集『地形と気象』など。現在、明治大学理工学部新領域創造研究科博士前期過程在学。

## 連詩 -RENSHI-とは?

複数人で短い詩をリレーのように連ねていく創作現代詩。伝統の中で培われた連歌・俳句の美学をもとに、新たに詩の可能性を探ろうと三島市出身の詩人・大岡信を中心にはじまりました。海外でも創作される、静岡県が世界に誇る文芸です。



### 交通アクセス

- ・JR東静岡駅南口隣接。
  - ・静岡鉄道長沼駅徒歩10分。
  - ・東海道新幹線(ひかり)で東京・名古屋から1時間、新大阪から2時間。JR静岡駅乗換、東静岡駅まで3分。
  - ・車では、東名高速道路静岡I.Cから20分。新東名高速道路新静岡I.Cから15分。静岡バイパス千代田上土I.Cから10分。
- 公演当日は混雑が予想されますので、公共の交通機関をご利用ください。



### 託児案内

ボランティアスタッフによる託児サービス(無料、2歳以上の未就学児)をご希望の方は公演1週間前までにご連絡ください。定員になり次第締め切らせていただきます。



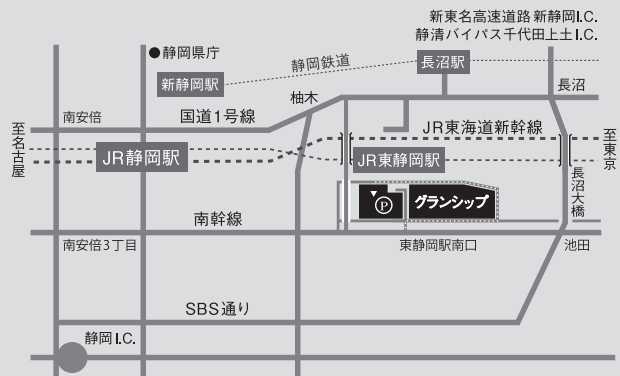
車椅子でご来場の方は公演前日までにご連絡ください。

【託児サービス及び車椅子での来場のお問い合わせ】

(公財)静岡県文化財団事業課 TEL.054-203-5714

静岡新聞 SBS

さとのこ 芸術祭



〒422-8005 静岡市駿河区池田79-4  
 グランシップ指定管理者: 公益財団法人静岡県文化財団  
<http://www.granship.or.jp/>



11/17~19の期間中、創作会場からの最新情報をSNSにて随時発信予定!